



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

月例調査レポート



高山村 松川溪谷
名勝「雷 滝」

急峻な松川溪谷へ豪快に落ち込む落差30mのこの滝の別名は「裏見の滝」。頭上にせり出した荒々しい岩盤ひしの庇の下は、轟音と水飛沫みずしぶきを体験できる絶好のひんやりスポット。また滝のカーテン越しに眺める景色は涼味満点です。地元青年団の勇士が雷鳴の正体を確かめるべく断崖を下り、滝の全容を解明したのは明治42年のこと。一世紀の時を経て「雷滝」は、国民的テレビアニメ「サザエさん」のオープニングにも登場する北信濃の「名勝」となりました。

- 長野しんきん 月例調査レポート 2
- 企業アンケート コロナ禍における「企業経営」Ⅱ-② 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃 明治時代の風景(5) 城山から南西を見た図 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます | 長野信用金庫 すかい



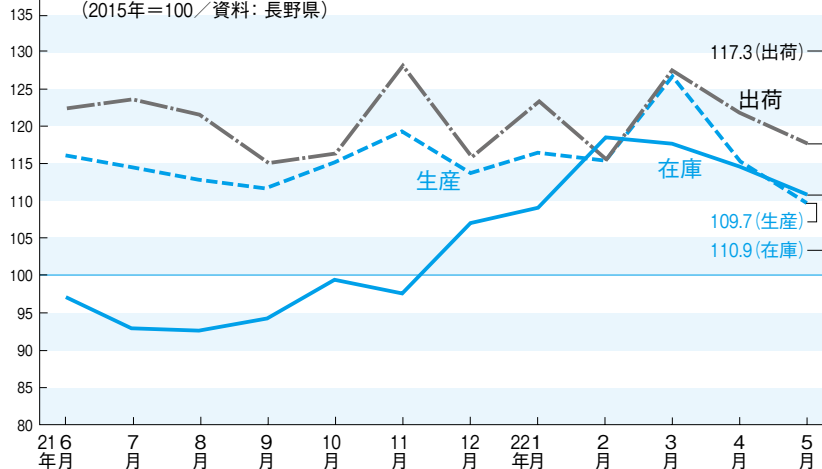
長野信用金庫

生産は2カ月連続の低下
前年同月比は16カ月ぶりの低下◇2022年5月の長野県鉱工業指数
(速報：季節調整済指数)

生産は109.7(前月比▲5.5%)で
2カ月連続の低下、出荷は117.3
(同▲3.5%)で2カ月連続の低下、
在庫は110.9(同▲3.2%)で3カ
月連続の低下となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は102.4(前年同月比▲1.3
)で16カ月ぶりの低下、出荷
は109.8(同▲2.1%)で20カ月ぶ
りの低下、在庫は111.5(同+
15.1%)で8カ月連続の上昇と
なりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)

[生産] 上昇…木材・木製品、化学、紙・紙工品など4業種

低下…電子部品・デバイス、はん用・生産用・業務用機械、食料品など13業種

[出荷] 上昇…情報通信機械、化学、鉱業の3業種

低下…電子部品・デバイス、輸送機械、その他など14業種

[在庫] 上昇…金属製品、プラスチック製品、木材・木製品など5業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、電子部品・デバイスなど11業種

月例調査

全産業の「売上高」は増加

前回調査 2022年5月

◇7月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比
「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(38

%)が9ポイント増加、「減少」割合(28%)が5ポイント減少、
「不変」割合(34%)は4ポイント減少、全体としては増加
の状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比
(3ポイント以上の動き)

▲ 増加 → 不変 ▼ 減少
 🔵 改善 🔴 不変 🔴 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回	29.2 ▼	38.1 →	32.7 ▲	202社(回収率88.6%) 30人未満 71.8% 30人以上 28.2%
	今回	増加 38.1 ▲	不変 34.0 ▼	減少 27.9 ▼	
製造業		47.0 ▲	27.2 ▼	25.8 ▼	66社(回収率81.5%) 30人未満 60.6% 30人以上 39.4%
建設業		24.6 →	36.9 ▼	38.5 ▲	65社(回収率91.5%) 30人未満 89.2% 30人以上 10.8%
卸小売業		35.0 ▲	42.5 →	22.5 ▼	40社(回収率83.3%) 30人未満 85.0% 30人以上 15.0%
サービス業		14.3 ▼	71.4 ▲	14.3 ▼	7社(回収率87.5%) 30人未満 85.7% 30人以上 14.3%
輸送業		44.4 ▲	33.4 ▼	22.2 →	9社(回収率90.0%) 30人未満 22.2% 30人以上 77.8%
外食業		90.0 ▲	0.0 ▼	10.0 ▼	10社(回収率100.0%) 30人未満 50.0% 30人以上 50.0%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」精密機械が減少するも、全体は増加

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(47%)が14%増加、「減少」割合(26%)が9%減少、「不変」割合(27%)が6%減少で、全体としては増加の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	32.9	32.8	34.3
	今回	増加 47.0	不変 27.2	減少 25.8
食料品		68.8	18.7	12.5
金属加工		45.5	27.2	27.3
一般機械		44.4	33.4	22.2
電気機械	-0.0	66.7		33.3
自動車部品		50.0	-0.0	50.0
精密機械		40.0	20.0	40.0

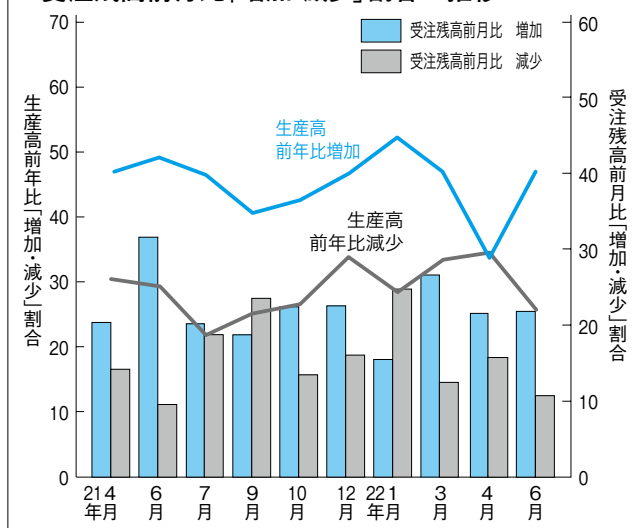
[業種別] 増加…食料品・金属加工・一般機械・電気機械・自動車部品
減少…精密機械

[機械稼働] (前回比) 稼働率 上昇
上昇割合 (17%) → 33%
下降割合 (16%) → 3%

[受注状況] 受注量 (前回比) 上昇
増加割合 (22%) → 22%
減少割合 (16%) → 11%
受注残高 (1.8ヵ月) → 1.9ヵ月

[受注基調] (前回比) 上昇
上昇割合 (22%) → 29%
下降割合 (15%) → 12%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(%)資料:当金庫



企業からのコメント

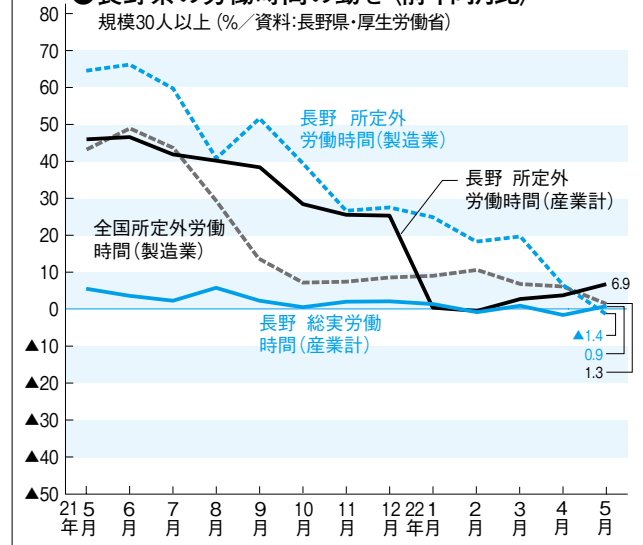
☆★受注に変動はないが、原材料などの仕入価格の高騰が続いている。今後、電気料金や人件費のアップも予想され、業績への影響が心配される。(電子機器)
★「夏ギフト」がスタートするが、売上げはコロナ前に比べて低調なまま。秋冬商品の値上げが全ジャンルで大きくなりそうなので、冬季の傾向を注視したい。

(信州そば)

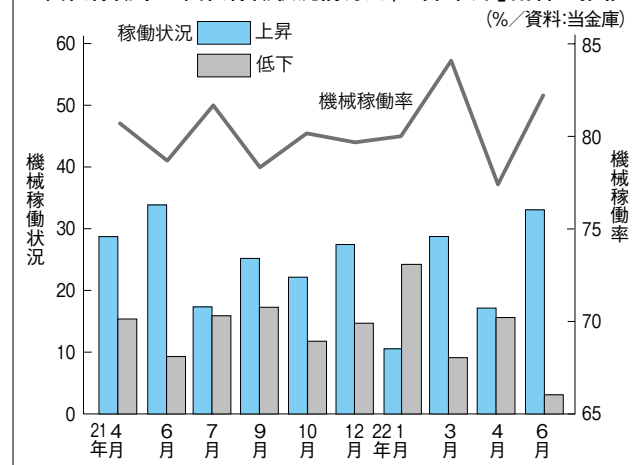
☆★中国上海市のコロナによる「ロックダウン」及び「半導体不足」によって、自動車の生産に必要な部品が入手できず受注が減少していたが、現在は徐々に改善している。(ミッション部品)

★「新型コロナウイルス感染症」や「ウクライナ情勢」、さらに「円安」の影響による半導体の調達不足による生産調整で、受注の先行きが不透明。さらに電力・原油・輸送用運賃などの値上げによる副資材関連の価格が10~20%値上りし、今後の利益に及ぼす影響を心配している。(輸送用機器部品)

●長野県の労働時間の動き(前年同月比)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(%)資料:当金庫



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」総合建設・建築が増加するも、全体は減少

概 況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(25%)が1割減少、「減少」割合(39%)が5割増加、「不変」割合(37%)が3割減少、全体としては減少の状況です。

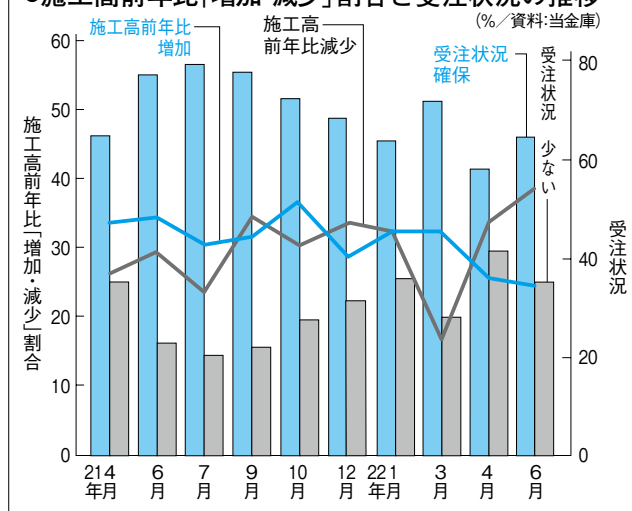
●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	25.8	40.3	33.9
	今回	増加 24.6	不変 36.9	減少 38.5
総合建設業		36.4	45.4	18.2
土木工事業		14.3	28.6	57.1
建築業		28.6	42.8	28.6
各種設備業		20.0	40.0	40.0

【業種別】 増 加…総合建設・建築
減 少…土木工事・各種設備

【受注状況】 受注残高(前回比) 改善
「多い・適正」割合 (58%) → 65%
「少ない」割合 (42%) → 35%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移



企業からのコメント

★「ウッドショック」と「ウクライナショック」による原材料の相次ぐ値上げで売価が急騰している。お客様の購買意欲の減退や「計画中止・取り止め・敬遠」の事態が顕著に表れて来ている。(総合建設)

☆★10月以降の工事量は増加予定だが、現在の受注価格に資材の値上げ分は転嫁できない。10月以降に資材の再々値上げがあるので、今後の受注物件には「価格転嫁」を第一の命題として取り組みたい。(内装仕上工事)

6月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4月～6月の発注合計は、863.1億円(前年同期比▲19.8%)となりました。「国」の144.8億円(同▲31.9%)、「県」の276.1億円(同▲0.7%)、「市町村」の223.0億円(同▲6.5%)、「その他」の213.7億円(同▲37.5%)と、全てマイナスでした。

北信地区市町村の発注合計は58.0億円(同+10.1%)で、うち長野市は23.7億円(同+54.7%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2022年6月/2022年4月～6月累計)

(単位=百万円/資料: 東日本建設業保証㈱)

		2022年6月	前年同月比	2022年4月～6月	前年同期比
長野県	国	6,682	▲35.8%	14,480	▲31.9%
	県	5,378	▲37.9%	27,614	▲0.7%
	市町村	7,837	+4.8%	22,295	▲6.5%
	その他	1,510	▲81.3%	21,368	▲37.5%
	合 計	21,891	▲36.8%	86,310	▲19.8%
北信地区	市町村	3,027	+18.5%	5,799	+10.1%
	(内長野市)	910	▲18.8%	2,370	+54.7%

4～6月の新設住宅着工戸数

長野県の4～6月の新設住宅着工戸数は2,970戸(前年同月比▲1.2%)でした。持家が1,712戸(同▲10.6%)、貸家が772戸(同+15.1%)、分譲が479戸(同+15.1%)、給与が7戸(同+75.0%)です。

北信地区の4～6月の新設住宅着工戸数は632戸(同▲33.1%)でした。持家が427戸(同▲17.9%)、貸家が102戸(同▲59.7%)、分譲が101戸(同▲40.9%)、給与が2戸(同+100.0%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数

(2022年6月/2022年4月～2022年6月累計)

(資料: 長野県)

		持 家	貸 家	分 譲	給 与	合 計
北信地区	6 月	122戸	38戸	34戸	0戸	194戸
	(内長野市)	76戸	30戸	23戸	0戸	129戸
	前年同月比	▲40.9%	▲67.4%	▲28.6%	▲100.0%	▲48.1%
	(内長野市)	▲51.0%	▲74.6%	▲36.1%	▲100.0%	▲58.4%
	4～6 月	427戸	102戸	101戸	2戸	632戸
	前年同期比	▲17.9%	▲59.7%	▲40.9%	+100.0%	▲33.1%
長野県	6 月	628戸	326戸	111戸	1戸	1,066戸
	前年同月比	▲19.3%	▲14.9%	▲13.3%	0.0%	▲17.4%
	4～6 月	1,712戸	772戸	479戸	7戸	2,970戸
	前年同期比	▲10.6%	+15.1%	+15.1%	+75.0%	▲1.2%

卸小売業

卸売業、小売業

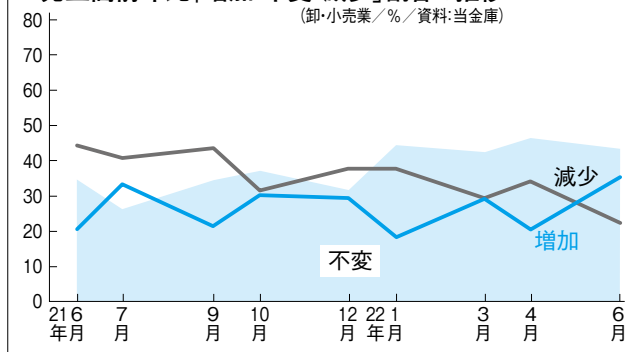
「売上高」卸売・小売ともに増加

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(35%)が15ポイント増加し、「減少」割合(23%)が12ポイント減少、「不変」割合(43%)が3ポイント減少し、全体として売上げは増加の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	20.5	45.4	34.1
	今回	増加 35.0	不変 42.5	減少 22.5
卸 売 業		43.8	37.4	18.8
小 売 業		29.2	45.8	25.0

●売上高前年比「増加・不変・減少」割合の推移 (卸・小売業 / % / 資料: 当金庫)



【業 種 別】 増加…卸売業・小売業

6月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……103.0(10カ月連続プラス)

(前月比+0.6%、前年同月比+3.3%)

上昇…「家具・家事用品」「光熱・水道」「住居」「食料」
「交通・通信」「保健医療」

下落…「教養娯楽」「被服及び履物」「諸雑費」

◇生鮮食品を除く総合指数…102.8(11カ月連続プラス)

(前月比+0.6%、前年同月比+3.2%)

企業からのコメント

- ★一部の商品調達に遅れが出ている。また、少しずつ価格の値上りが見られる。(家電販売)
- ☆★「善光寺御開帳」によって売上が大幅に増加した。しかし、終了後は元の状態に戻り、低調に推移している。(土産品)
- ★原材料の高騰で、全体的に入荷量も減少気味になっている。また、新型コロナの感染者増加で、イベント用の盛花は低調。(花鉢)
- ★物価上昇の影響もあって、手頃な価格の中古車の需要が高まっている。
- ★☆新車の売上げは納期の関係で低調。そのためか、中古車市場は活況を呈している。(以上自動車販売)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービス・輸送・外食はともに増加

サービス業 売上高前年比「増加」割合は11ポイント減少の14%、「減少」割合は23ポイント減少の14%、「不変」割合は34ポイント増加の71%と、売上げは増加の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は14ポイント増加の44%、「減少」割合は2ポイント増加の22%、「不変」割合は17ポイント減少の33%と、売上げは増加の状況。タクシーは横ばい、運輸は増加です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は15ポイント増加の90%、「減少」割合は3ポイント減少の10%、「不変」割合は13ポイント減少の0%と、売上げは増加の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比12ポイントの減少、前年同月比は271ポイントの増加ですが、宿泊利用は伸び悩んでいます。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」が7ポイント増加の50%、「引合いやや増加」が10ポイント増加の10%でした。

企業からのコメント

- ☆★「善光寺御開帳」で観光客が多く来店、特に県外客が目立った。御開帳後はコロナ感染者数の増加につれて、客足も減少傾向。(そば店)
- ☆★「善光寺御開帳」と「信州割SPECIAL宿泊割」が個人客の誘客につながった。しかし、団体客は前回の御開帳の5%程度と極めて低調だった。(和風ホテル)
- ☆★物件が少なく買い手が増えているため、土地・建売物件の価格が上昇している。(不動産)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	25.0	37.5	37.5
	今回	増加 14.3	不変 71.4	減少 14.3
輸送業	前回	30.0	50.0	20.0
	今回	44.4	33.4	22.2
うちタクシー業		100.0	0.0	0.0
うち運送業		16.7	50.0	33.3
外食業	前回	75.0	12.5	12.5
	今回	90.0	0.0	10.0

商品・サービス価格の値上げの予定

「すでに値上げを実施」27% 「値上げを検討中」25%

「近々値上げの予定」14% 「値上げをしたいが出来ない」13%

コスト上昇分を価格に転嫁すること

「ある程度は可能」49% 「同業者との競合上、困難」21% 「下請けの立場上、困難」9%

「諸事情で不可能」3% 「全く無理」2% 「分からない」12%

商品・サービス価格の値上げの予定 「すでに値上げを実施」は27%、「値上げを検討中」は25%、「近々値上げの予定」は14%で、「値上げをしたいが出来ない」は13%となりました。

コスト上昇分を価格に転嫁すること 「ある程度可能」は49%、「同業者との競合上、困難」は21%のあと、「下請けの立場上、困難」が9%、「諸事情で不可能」が3%、「全く無理」が2%、「分からない」が12%となっています。

商品・サービス価格の値上げの予定

「すでに値上げを実施」27%

「値上げを検討中」25%

「近々値上げの予定」14%

「値上げをしたいが出来ない」13%

「原材料・エネルギー価格等は高騰しているが、商品やサービスの価格に関して値上げの予定があ

るか」を聞きました。

「すでに値上げを実施」は27%、「値上げを検討中」は25%、「近々値上げの予定」は14%、「値上げをしたいが出来ない」は13%となっています。

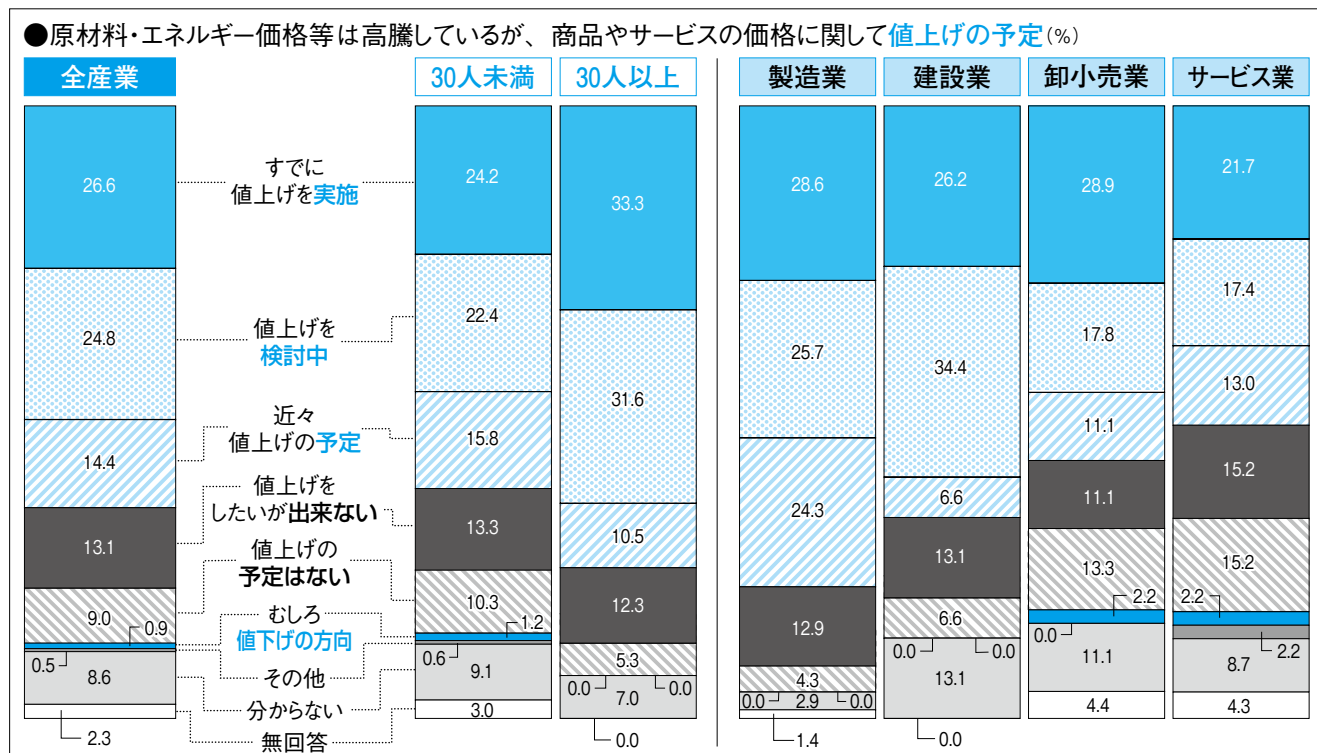
従業員規模で見ると、30人未満は「近々値上げの予定」と「値上げの予定はない」がそれぞれ5割、30人以上より高くなっています。30人以上は「すでに値上げを実施」と「値上げを検討中」がそれぞれ9割、30人未満より高くなっています。

業種別

“値上げは困難” サービス業

◇4業種の状況

製造業 「すでに値上げを実施」(29%)、「値上げを検討中」(26%)、「近々値上げの予定」(24%)が拮抗しています。「近々値上げの予定」は4業種中最も多く、「値上げを検討中」は2番目です。



建設業 「値上げを検討中」(34%)と「分からない」(13%)は4業種中トップで、「値上げをしたいが出来ない」(13%)は2番目となっています。

卸小売業 「すでに値上げを実施」(29%)と「むしろ値下げの方向」(2%)は4業種中1番で、「値上げの予定はない」(13%)は2番目です。

サービス業 「値上げの予定はない」(15%)、「値上げをしたいが出来ない」(15%)、「むしろ値下げの方向」(2%)はともに4業種中トップです。

コスト上昇分を価格に転嫁すること

「ある程度は可能」49%
「同業者との競合上、困難」21%
「下請けの立場上、困難」9%
「諸事情で不可能」3%
「全く無理」2%
「分からない」12%

「企業活動における諸々のコスト上昇分を製品・サービスの価格へ転嫁できるか」を聞きました。

「ある程度の転嫁は可能」(49%)がトップで、「同業者との競合上、転嫁は困難」(21%)、「下請けの立場上、転嫁困難」(9%)と続き、「諸事情で転嫁不可能」(3%)、「まったく無理」(2%)、「すべての転嫁が容易」(2%)となりました。

従業員規模で見ると、30人未満は「同業者との競合上、価格転嫁は困難」(22%)と「分からない」

(13%)が30人以上よりそれぞれ4%高くなりました。30人以上は、「ある程度の転嫁は可能」(54%)が7%、「下請けの立場上、転嫁困難」(11%)が3%、30人未満より高くなっています。

業種別

「ある程度の転嫁は可能」全業種1位

◇4業種の状況

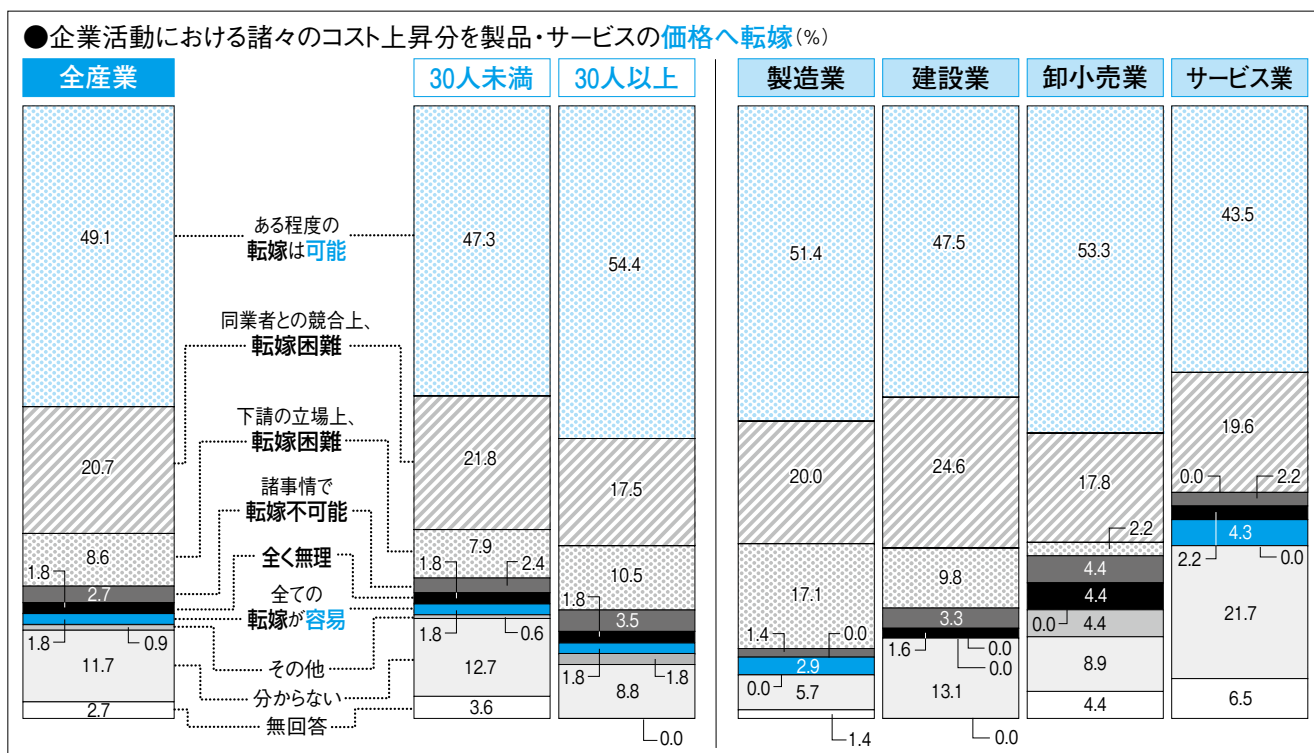
製造業 「ある程度の転嫁は可能」(51%)、「同業者との競合上、転嫁は困難」(20%)、「下請けの立場上、転嫁は困難」(17%)が上位で、「下請けの立場上、転嫁は困難」が業種間でトップとなりました。

建設業 「ある程度の転嫁は可能」(48%)、「同業者との競合上、転嫁は困難」(25%)が上位で、「同業者との競合上、転嫁は困難」は業種間でトップとなりました。

卸小売業 「ある程度の転嫁は可能」(53%)、「同業者との競合上、転嫁は困難」(18%)が上位で、「ある程度の転嫁は可能」は業種間でトップとなりました。

サービス業 「ある程度の転嫁は可能」(44%)、「同業者との競合上、転嫁は困難」(20%)が上位で、「すべての転嫁が容易」(4%)は業種間でトップとなっています。

◇次号は「直近の最重要リスク」と「政府に重点的に取り組んでほしい施策」を予定





親切(新設)で、地域から 信頼される会社をめざし

新設工業株式会社
代表取締役社長 工藤英貴さま

●創業の経緯についてお聞きます…

私の父である工藤洋吉が、学生時代に東京の水道関連の企業でアルバイトをしていた経験を活かし、卒業後の1976年(昭和51)長野市で起業したのが会社の始まりです。

●社長になられた経緯についてお聞きます…

私は長野高専を卒業後、須坂市にある(株)ショーシンに入社し、農業車両の設計を担当していました。社会人になって5年が経った頃、父から「私も高齢になったので、うちの会社を手伝わないか」と言われ、2004年(平成16)に新設工業(株)へ入社しました。

入社後一年間は工事に所属し、配管職人として働きました。その後、現場監督として、長野市民病院の改修工事など、大規模な工事を経験してきました。官公庁や建築会社様からの現場仕事をこなしていきながら、業界内外で人脈を構築しました。会社の古い部分を徐々にアップデート(改革)していく中、2015年(平成27)に代表取締役社長に就任しました。

社長になって最初に取り組んだことは、「個人のお客様にもう一度目を向けて大切にしよう!」との理由から、“個人顧客担当の営業部署”を創設したことです。私が入社した当時は、まだまだ大きな工事がたくさんあった時代でした。受注に関しても規模の大きな工事を追いかけて、個人顧客の仕事は疎かになっていて、ついでの対応という状況でした。そんな風潮の中、私は、“仕事をする事で地域に貢献”し、当社を必要としてくださるお客様の絶対数を増やし、“地域の水まわりの困りごとを解決”していきたいと考

えていました。個人的に、建設業界は「“当たり前のこと”が出来ていない」と感じています。ですから、ほかの業界で、当たり前のことを行えば、他社に勝てるのではないかと考えています。その一つとして「女性の営業担当」を置きました。女性の営業は、お客様が話しやすいのがメリットです。高齢のお客様は誰かと話したいのです。話を聞き、お客様と打ち解けることから始めます。お客様の声を拾い、小さな仕事でも丁寧に対応してきました。こうした努力が実り、現在では、年間1500件を越える工事依頼を頂くようになりました。一定の結果が出てきたと感じています。

現在、当社社員の平均年齢は約45歳で、若い世代が不足しています。20歳代の社員を獲得するため、孤軍奮闘してきました。そんな中、6月に26歳の社員が入社してくれました。若者が手に職をつけ、地元の仕事をどんどんこなしていければ、活気ある町になっていきます。

●業務の概要についてお聞きます…

給排水・給湯設備、空調・換気設備工事が主軸になります。ほかに、床暖房・融雪工事なども行い、消火設備工事も請負っています。当社は、長野市の入札参加資格において“Aランク”に入っていますから、大きな工事でも施工することが可能です。

施工件数が多いのは、「水まわりのリフォーム工事」です。一時期、下水道が普及し始めた頃には、水洗化への切り替え工事がたくさんありました。現在の下水道普及率は95%を越え、その依頼は激減しました。しかし、その時代に施工してから10年ほど経ちますので、近年、キッチンやユニットバス・トイレ改修など、住宅のリフォーム工事依頼を数多くいただいています。

●コロナ禍の影響についてお伺いします…

「地域から選ばれる企業」を目指し、お客様と“信頼を結ぶ”ことを第一に掲げて企業活動をしてきました。今では、どうやって仕事をこなそ

うか、というくらい多くの注文を頂いている状況です。

しかし、昨今の原材料などの値上げで原価がふくらみ、人件費が出にくくなっています。また、給湯器やエアコンなどの納期が3か月以上かかることもあり、仕事のやりくりで非常に苦労する状況が続いています。品不足の状態はコロナ1年目から出始めて、一時は良くなりましたが、半導体不足等の影響で現在はまた悪化しています。この3年間は、普通の状態がありませんでした。お客様へ提案する価格も少しずつ上げていかなければならず、苦しい状況になっています。

●今後の夢や方針などをお聞かせください…

この業界は、年々、就業者と企業数が減少しています。社員高齢化のため、経営をやめてしまう企業も増えてきています。しかし私は、技術力をもって生き残れば、“売り手市場”が見込

まれる業界だと考えています。

ベテランの技術者がいるうちに、若者をたくさん入社させて技術を継承し、未来にその技術を保持できるようにしたいと考えています。お客様から頼られ、従業員一人ひとりがお客様からの感謝の気持ちを受け取ることで、さらにやる気が出て、社員の仕事と生活が充実していくような企業にしたいと考えています。



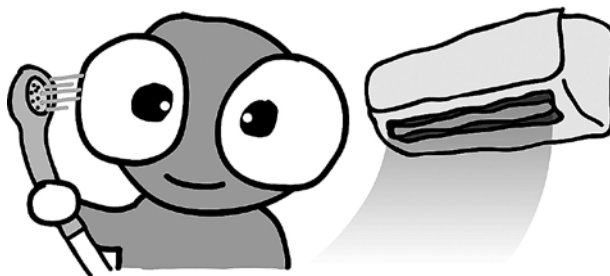
技術部員



本社外観



営業部員



マスコットキャラクター「シンセツ君」

●事業の概要

設立 1976(昭和51)年
資本金 2,500万円
代表者 工藤 英貴
従業員 25名(男19名・女6名)
業務 給排水・空調換気設備工事
水まわりのリフォーム工事
所在地 長野市青木島町綱島310
URL <https://www.sinsetu.co.jp/>

●沿革

1973(昭和48)年 創業者の工藤洋吉が個人創業
1976(昭和51)年 新設工業(株)設立
1980(昭和55)年 現在地へ移転
2015(平成27)年 工藤英貴が代表取締役に就任
長野市優良工事表彰を受賞
2021(令和3)年 リフォーム事業部を開設

北信濃 明治時代の風景

(5) 城山から南西を見た図

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、明治10年代に各町村が長野県に提出した町村誌に描かれた挿絵を紹介します。今回は明治15年(1882)ころできた『長野町誌』の、「其二 南望之図」です。

景色のあらまし

善光寺東側の城山にある、健御名方富命彦神別神社(水内大社・城山県社)から南西を見た景色です。絵の中央が劣化して、破損して縦に白抜きになっています。またその周辺が汚れています。

手前が城山で、その向こうに平野部が広がっています。犀川が中段を貫流しており、裾花川が右下から合流しています。左上の山沿いには、千曲川が曲がって流れています。

長野の市街は右下に描かれています。平野部の周囲には、山々が連なっています。

健御名方富命彦神別神社

中央下の白抜きの左に「健御名方彦神別神社」と書いてあって、その下に社殿の一部が見えています。これは正式には「健御名方富命彦神別神社」で、神社名が難しいので「城山の県社」と通称で呼ばれてきましたが、近年は「水内大社」と呼ぶことが多くなりました。

明治の新政府は神仏分離令を出して、神社と寺院が同居することを禁じました。これにより善光寺では、本堂の背後にあった神社の年神堂を分離して、それまで毘沙門堂があった城山の高台に神社としてまつりました。これが健御名方富命彦神別神社です。

平安時代の『延喜式』には、水内郡の「健御名方富命彦神別神社」が掲載されていますが、どの神



長野町誌(長野県立歴史館蔵より)

社のことか分からなくなっていました。この神社は善光寺にまつられた神社だという説に基づいて、城山に新設された神社に「健御名方富命彦神別神社」という難しい名前が付けられたのです。

寛慶寺

右下の寺院は、東之門町の寛慶寺(浄土宗)です。弘化4年(1847)の善光寺地震で焼失し、明治16年(1883)に新築されているので、これは新築されたばかりの本堂でしょう。



現在の健御名方富命彦神別神社の拝殿前から見下ろした南方

長野学校

城山の右下の、大きな旗を掲げた近代建築は、長野学校(現城山小学校)です。常念仏堂の跡に明治6年(1873)に開校しました。

師範学校

長野学校の旗の下に、中央に望楼のある建物が小さく描かれていて、やはり旗を掲げていることが分かります。これは現在の長野市立図書館の場所(長門町)に明治8年(1875)に新設された、長野県師範学校です。明治20年(1887)に西長野の、現在の信州大学教育学部の場所に移転しました。長門町にあった旧長野県師範学校の教師館(管理棟)は、長野県宝となって現在は飯綱高原に移設されています。

長野県庁

師範学校の右にも、同じような望楼のある建物があります。これは、現在の信州大学教育学部キャンパスの東端にあった長野県庁です。長野県は明治4年(1871)から西町の西方寺の本堂を仮庁舎としていましたが、明治7年(1874)にその裏側(西側)に庁舎を新築して移転しました。ここに描かれているのは、新築された県庁です。

北国街道

城山の下から犀川に向かって、人家が連なっています。この中に隠れているのが北国街道で、街道の両側に家々が建ち並んでいるわけです。善光寺から南に下る現在の中央通りが旧北国街道で、この道は現在も線路を越えて犀川の丹波島橋まで

続いています。

絵をよく見ると、犀川には簡単な橋のようなものが描かれています。ここは江戸時代には渡し場でしたが、明治6年(1873)に舟を並べてその上に板を敷いた舟橋が架けられました。明治23年(1890)には木橋となりましたが、いずれも民間会社が管理していて、明治30年(1897)に県に移管されるまで通行料がかかりました。

舟橋を渡ると街道は西に向きを変え、東西に人家の連なった「丹波島」宿に入ります。その先はまた南に向きを変え、「篠ノ井」まで人家が続いています。この「篠ノ井」は現在の長野市篠ノ井塩崎上篠ノ井で、北国西街道(善光寺街道)との追分になっていました。現在の篠ノ井駅付近ではありません。

篠ノ井より先

北国街道は「篠ノ井」の南で千曲川を渡り、「屋代」宿を通して上田方面に通じています。また「篠ノ井」から分かれた北国西街道(善光寺街道)は、「稲荷山」宿から山を越えて松本方面に通じています。

「篠ノ井」の左(東)の「横田川原」は長野市篠ノ井横田で、木曾義仲の古戦場として知られています。

9月号は「城山から南東を見た図」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫](#) すかい

◆諸物価の上昇による「家計への影響」

「苦しくなった」75% 「以前と変わらない」14% 「分からない」11%

「ガソリン価格や食料品の値上げ等、最近、諸物価の上昇が目立っていますが、家計への影響」を聞きました。

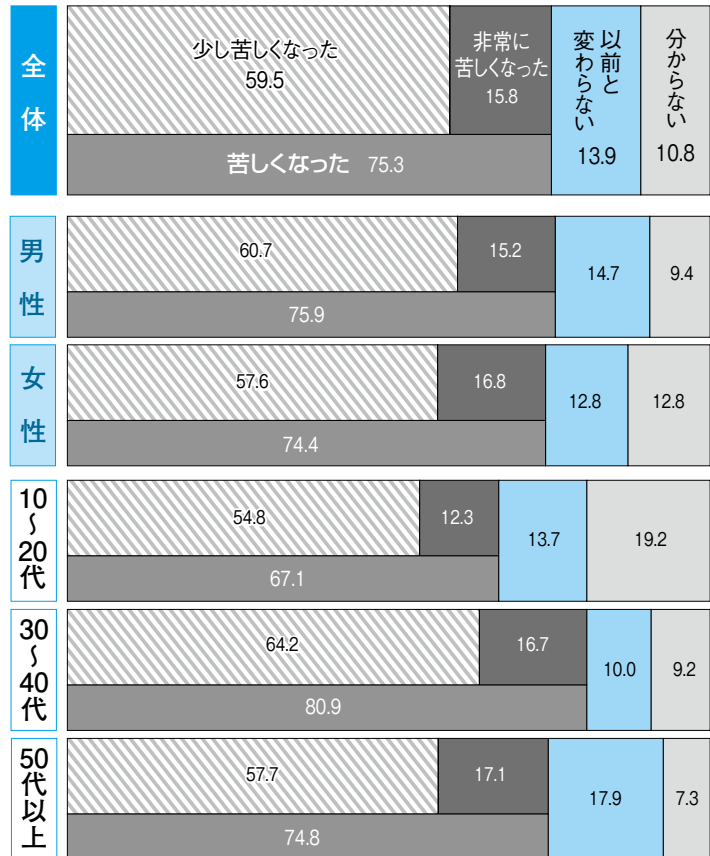
「少し苦しくなった」(60%)と「非常に苦しくなった」(16%)を合わせた「苦しくなった」は76%、「以前と変わらない」は14%となり、「分からない」は11%でした。

男女別で見ると、男性の「苦しくなった」は76%、「変わらない」は15%、「分からない」は9%、女性は同様に、74%、13%、13%となり、大差はありません。

世代別で見ると、10～20代の「苦しくなった」は67%、「変わらない」は14%、「分からない」は19%、同様に30～40代は81%、10%、9%、50代以上は75%、18%、7%となり、かなり差が開いています。

〈当金庫・2022年6月調査〉

●諸物価の上昇による「家計への影響」(%) ※「楽になった」は、0%につき省く



●みなさまの税務相談のご案内 [9月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
9月 2日 金	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	9月 16日 金	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)
7日 水	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	21日 水	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
8日 木	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)	22日 木	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
9日 金	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	27日 火	本店営業部	
13日 火	大豆島支店 (長池支店)		28日 水	本部	
14日 水	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	29日 木	本部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

